



県内経済情勢 (令和2年7月判断)

令和2年8月4日

財務省関東財務局
千葉財務事務所

照会先

千葉財務事務所 財務課 (TEL:043-251-7213)

ホームページ <http://kantou.mof.go.jp/chiba/>

1. 総論

【総括判断】「県内経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、足下では下げ止まりの動きがみられる」

項目	前回（2年4月判断）	今回（2年7月判断）	前回比較
総括判断	新型コロナウイルス感染症の影響により、経済活動が抑制されるなか、足下で急速に下押しされており、極めて厳しい状況にある	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、足下では下げ止まりの動きがみられる	➡

（注）2年7月判断は、前回4月判断以降、足下（7月末）の状況までを含めた期間で判断している。

（判断の要点）

個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響が残るものの、足下では下げ止まりつつある。生産活動は、新型コロナウイルス感染症の影響による減産の動きがみられ、弱含んでいる。雇用情勢は、新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている。

【各項目の判断】

項目	前回（2年4月判断）	今回（2年7月判断）	前回比較
個人消費	新型コロナウイルス感染症の影響により、弱含んでいる	新型コロナウイルス感染症の影響が残るものの、足下では下げ止まりつつある	➡
生産活動	足踏みの状況にあったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、足下で減産の動きがみられ始めている	新型コロナウイルス感染症の影響による減産の動きがみられ、弱含んでいる	➡
雇用情勢	改善のテンポが緩やかになっている	新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている	➡
設備投資	元年度は増加見込みとなっている	2年度は増加見込みとなっている	➡
企業収益	元年度は減益見込みとなっている	2年度は減益見込みとなっている	➡
企業の景況感	「下降」超で推移している	「下降」超で推移している	➡
住宅建設	前年を下回っている	前年を上回っている	➡
公共事業	前年を下回っている	前年を下回っている	➡

【先行き】

先行きについては、感染拡大の防止策を講じつつ、社会経済活動のレベルを段階的に引き上げていくなかで、各種政策の効果もあって、厳しい状況から持ち直しに向かうことが期待される。ただし、新型コロナウイルス感染症が県内経済に与える影響に十分注意する必要がある。

2. 各論

■ 個人消費 「新型コロナウイルス感染症の影響が残るものの、足下では下げ止まりつつある」

スーパー及びドラッグストア販売額は前年を上回っているものの、百貨店販売額及び乗用車の新車登録届出数は前年を大幅に下回っているほか、コンビニエンスストア販売額も前年を下回っている。また、娯楽業・宿泊業等は厳しさが残るものの、徐々に客足が戻ってきている。このように、個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響が残るものの、足下では下げ止まりつつある。

(主なヒアリング結果)

- 緊急事態宣言の発令を受け、一部売り場を除いて臨時休業としたことから、売上高は前年を大幅に下回っている。現在は営業を再開したものの、店舗への集客策を実施できない影響等もあり、客数は以前ほど戻ってきていない。(百貨店・スーパー、大企業)
- 緊急事態宣言の発令を受け、駅ビル内にある店舗を中心に客数は減少したものの、外出減による外食需要の減少に伴う巣ごもり消費(まとめ買い)により、客単価が大幅に増加したことから、売上高は前年を上回っている。(百貨店・スーパー、中堅企業)
- 4月以降、各種スポーツやイベント関連等の団体予約が全てキャンセルとなったこと等から、客室稼働率は前年を大幅に下回っているものの、足下では一部団体予約が戻ってきている。(宿泊業、中小企業)

■ 生産活動 「新型コロナウイルス感染症の影響による減産の動きがみられ、弱含んでいる」

生産を業種別にみると、汎用・業務用機械が増加しているものの、鉄鋼、生産用機械、食料品などが減少しており、新型コロナウイルス感染症の影響による減産の動きがみられ、弱含んでいる。

(主なヒアリング結果)

- 新型コロナウイルス感染拡大の影響で、国内外の自動車工場の操業停止等に伴って自動車生産が落ち込むなど、需要が一段と減少していることから、生産量は前年を大きく下回っている。足下でも需要は回復しておらず、高炉の一時休止を継続中。(鉄鋼、大企業)
- 5月以降、海外諸国のロックダウンに伴う経済活動の停止により、中国を除く米国、ヨーロッパ等の海外の受注先からキャンセルがあったことから、生産量は減少している。足下では経済活動再開の動きが出てきているものの、現在のところ受注量の戻りの見込みは立っていない。(生産用機械、大企業)
- 家庭用は巣ごもり需要で好調な一方、5月以降は業務用の落ち込みが大きいことから、生産量は減少している。足下では一番影響が大きかったときよりは改善したものの、それほど需要は戻ってきていない。(食料品、中堅企業)

■ 雇用情勢 「新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている」

有効求人倍率は低下している。新規求人数は減少している。雇用保険受給者実人員は増加している。

(主なヒアリング結果)

- 緊急事態宣言の発令を受け、営業を縮小したことから、雇用調整助成金を活用している。(宿泊業、中小企業)

■ 設備投資 「2年度は増加見込みとなっている」

○ 法人企業景気予測調査(2年4~6月期調査)による2年度の設備投資計画額をみると、製造業では前年比増減率24.8%の増加見込み、非製造業では同11.1%の増加見込みとなっており、全規模・全産業では同14.1%の増加見込みとなっている。

■ 企業収益 「2年度は減益見込みとなっている」

○ 法人企業景気予測調査(2年4~6月期調査)による2年度の経常利益(除く「電気・ガス・水道業」、「金融業、保険業」)をみると、製造業では前年比増減率▲16.0%の減益見込み、非製造業では同▲12.6%の減益見込みとなっており、全規模・全産業では同▲13.5%の減益見込みとなっている。

■ 企業の景況感 「『下降』超で推移している」

○ 法人企業景気予測調査(2年4~6月期調査)による景況判断BSIをみると、全規模・全産業で「下降」超で推移している。2年7~9月期の先行きについては、全規模・全産業で「下降」超で推移する見通しとなっている。

■ 住宅建設 「前年を上回っている」

○ 新設住宅着工戸数をみると、前年を上回っている。

(主なヒアリング結果)

- 新型コロナウイルス感染症の影響による着工の遅れは、ほとんど生じていない。(住宅建設、大企業)

■ 公共事業 「前年を下回っている」

○ 公共工事請負金額をみると、前年を下回っている。

県内経済情勢 (令和2年7月判断)

(資料)

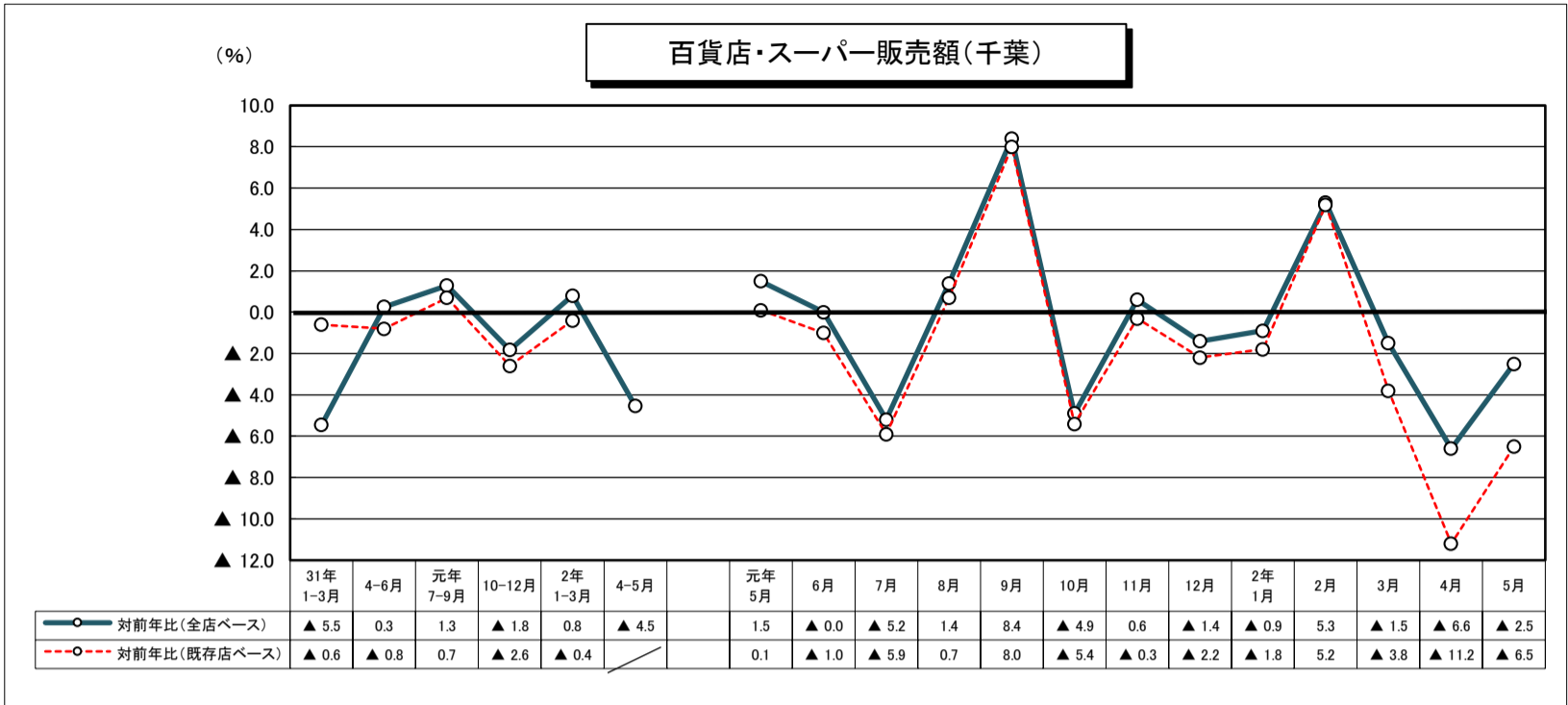
目次	(頁)
1 . 個人消費	1、2、3
2 . 生産活動	4
3 . 雇用情勢	5
4 . 設備投資	6
5 . 企業収益	6
6 . 企業の景況感	7
7 . 住宅建設	7
8 . 公共事業	8
9 . 倒産	8

令和2年8月4日

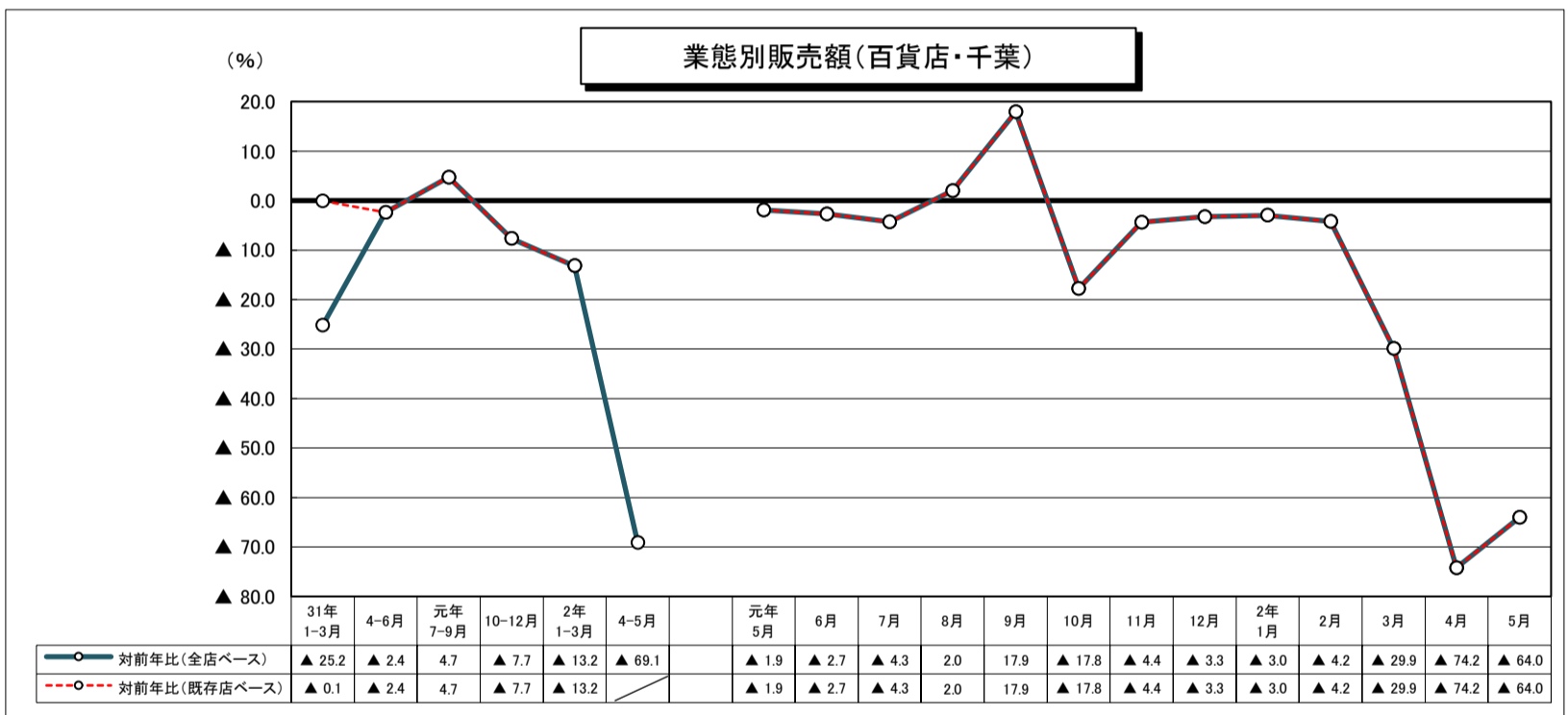
財務省関東財務局
千葉財務事務所

1. 個人消費

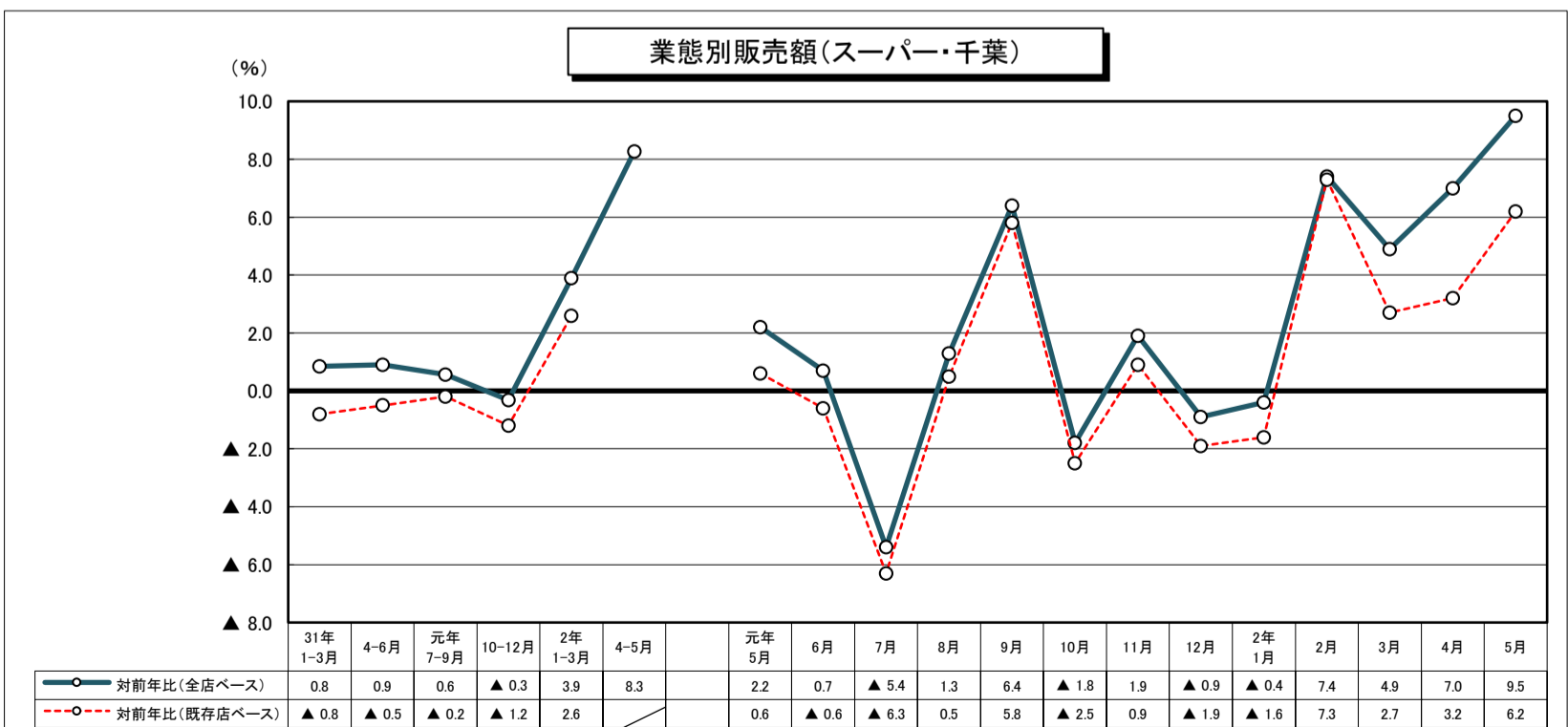
新型コロナウイルス感染症の影響が残るものの、
足下では下げ止まりつつある



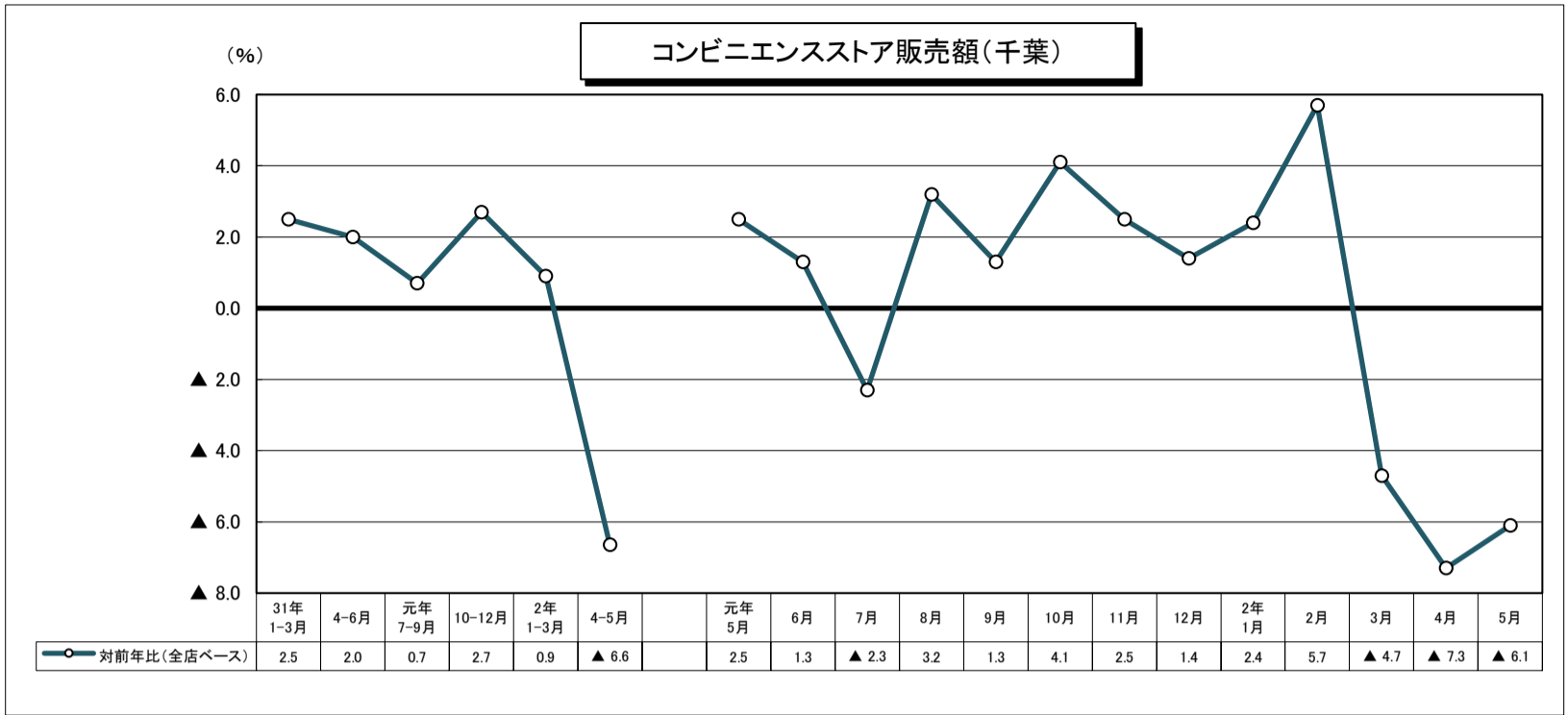
[経済産業省]



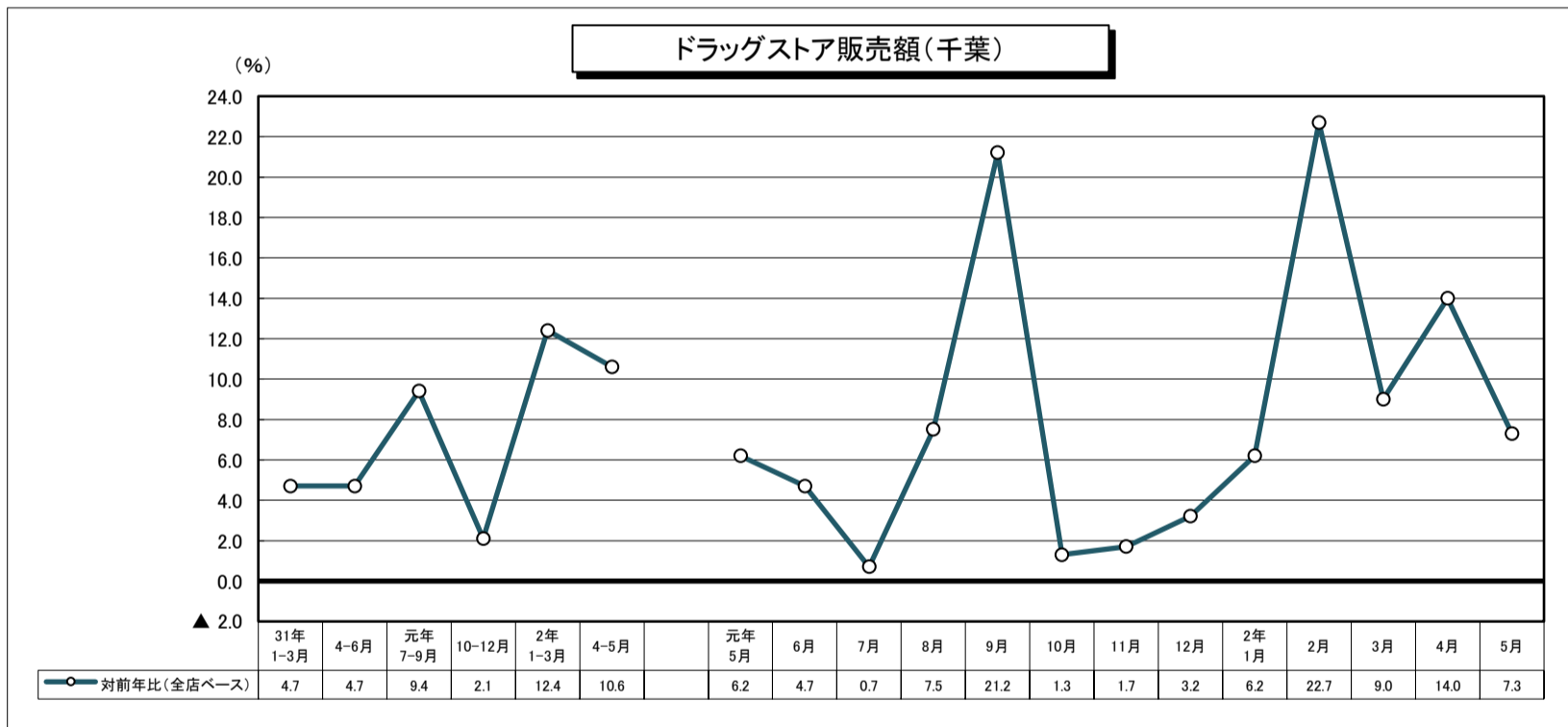
[経済産業省]



[経済産業省]

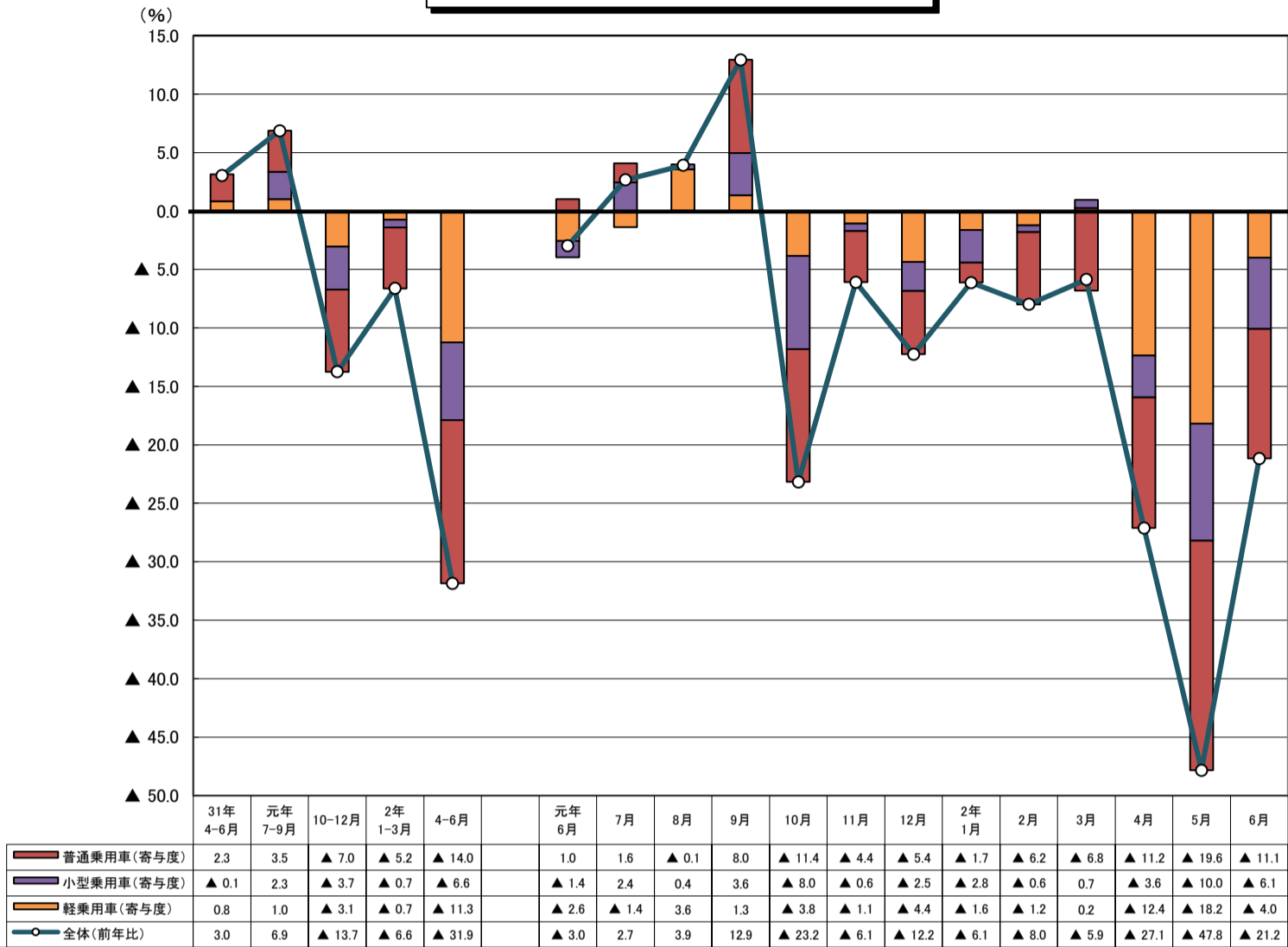


[経済産業省]



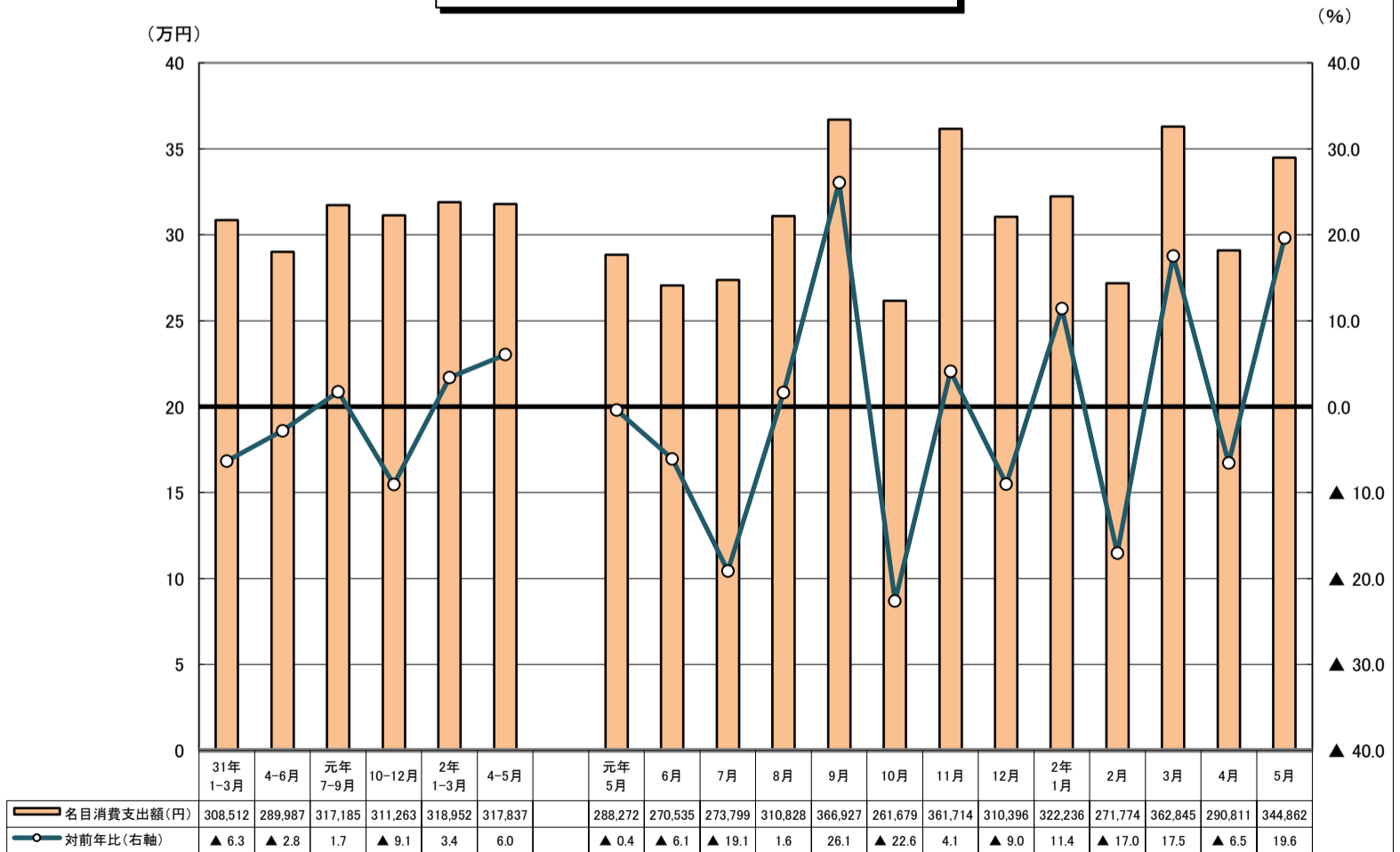
[経済産業省]

乗用車新車登録届出台数(千葉)



[日本自動車販売協会連合会・全国軽自動車協会連合会]

家計消費支出(千葉市・二人以上の世帯)

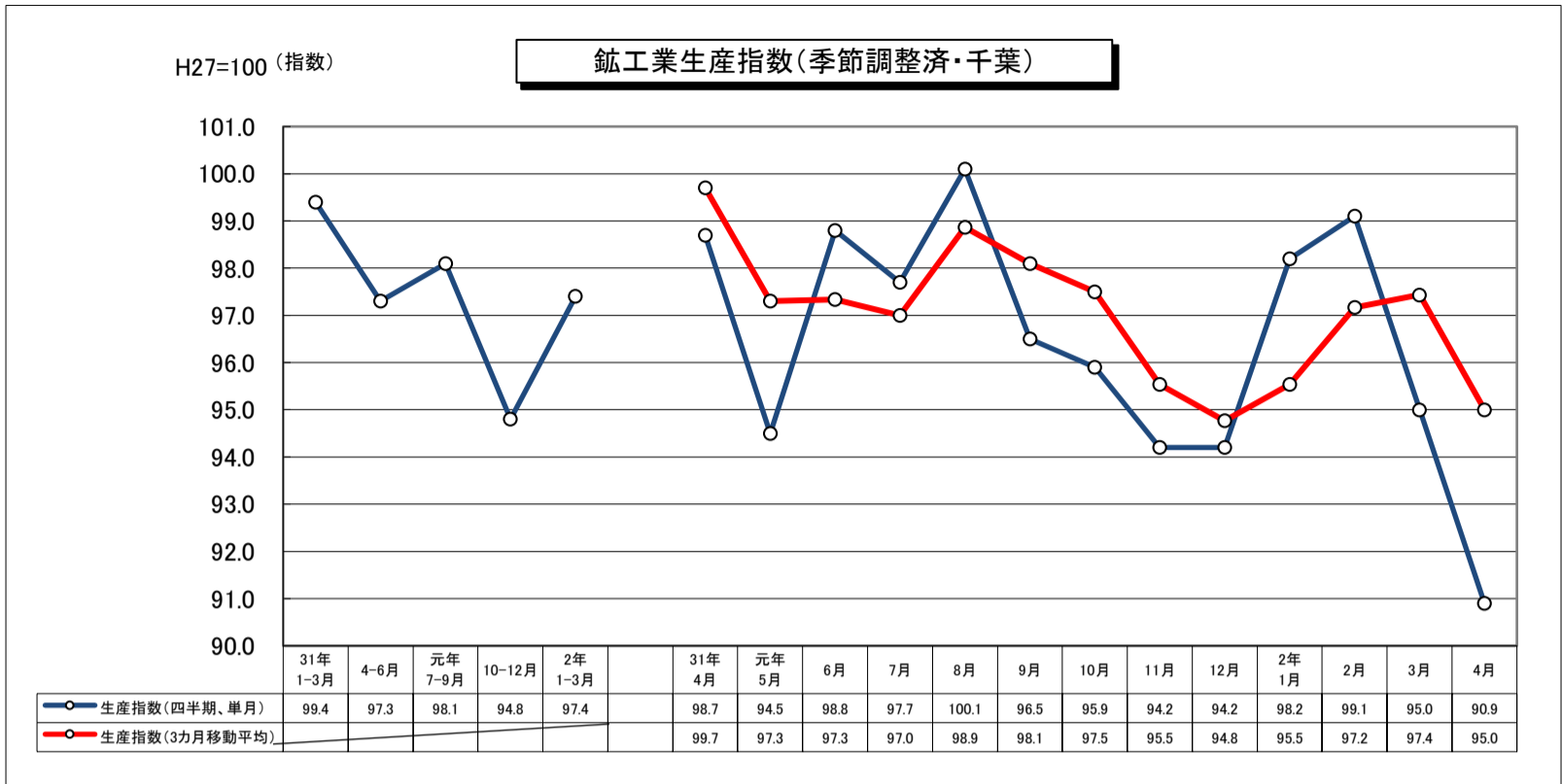


(注)四半期の金額は一月当りの平均

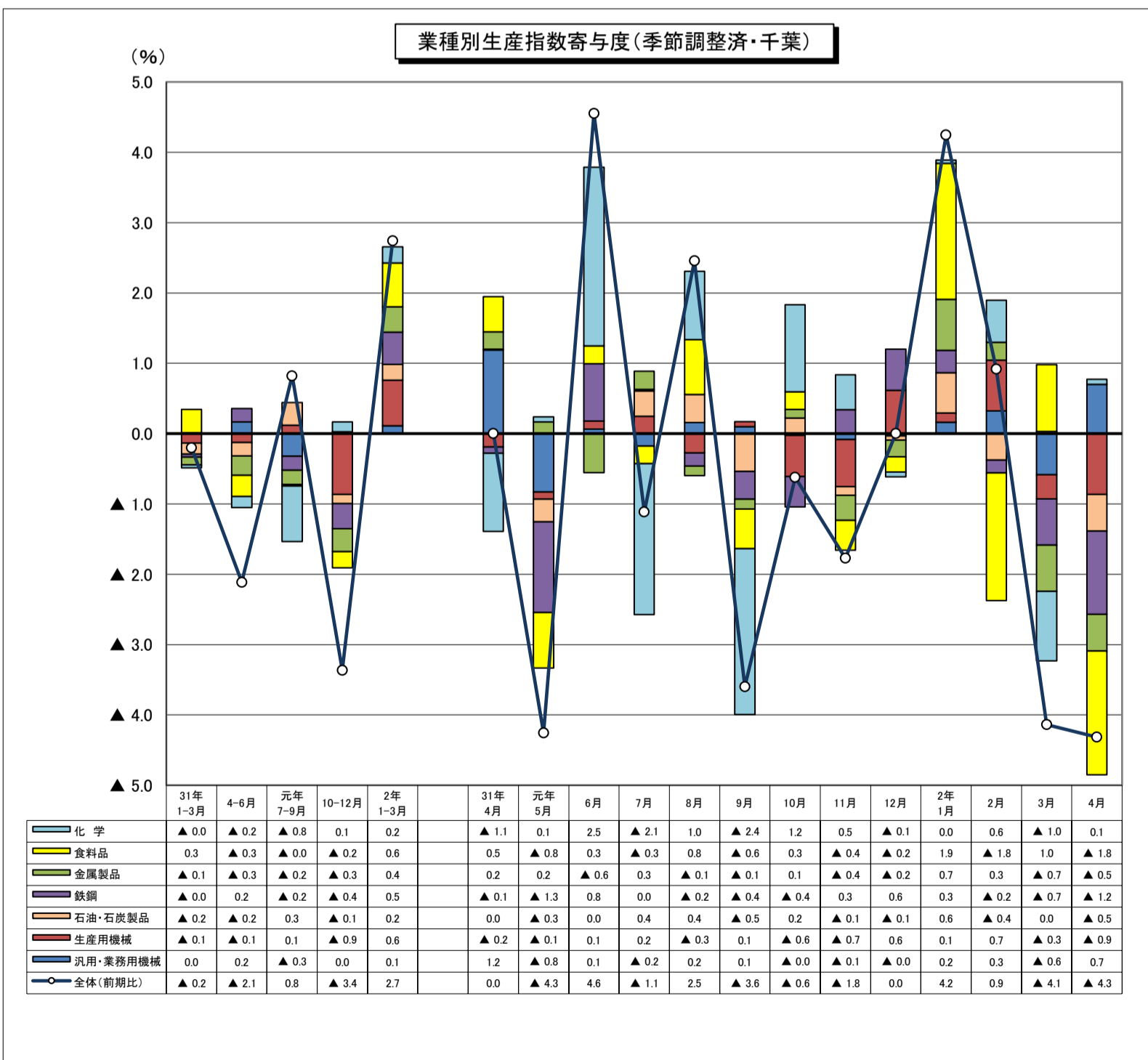
[総務省]

2. 生産活動

新型コロナウイルス感染症の影響による減産の動きがみられ、弱含んでいる



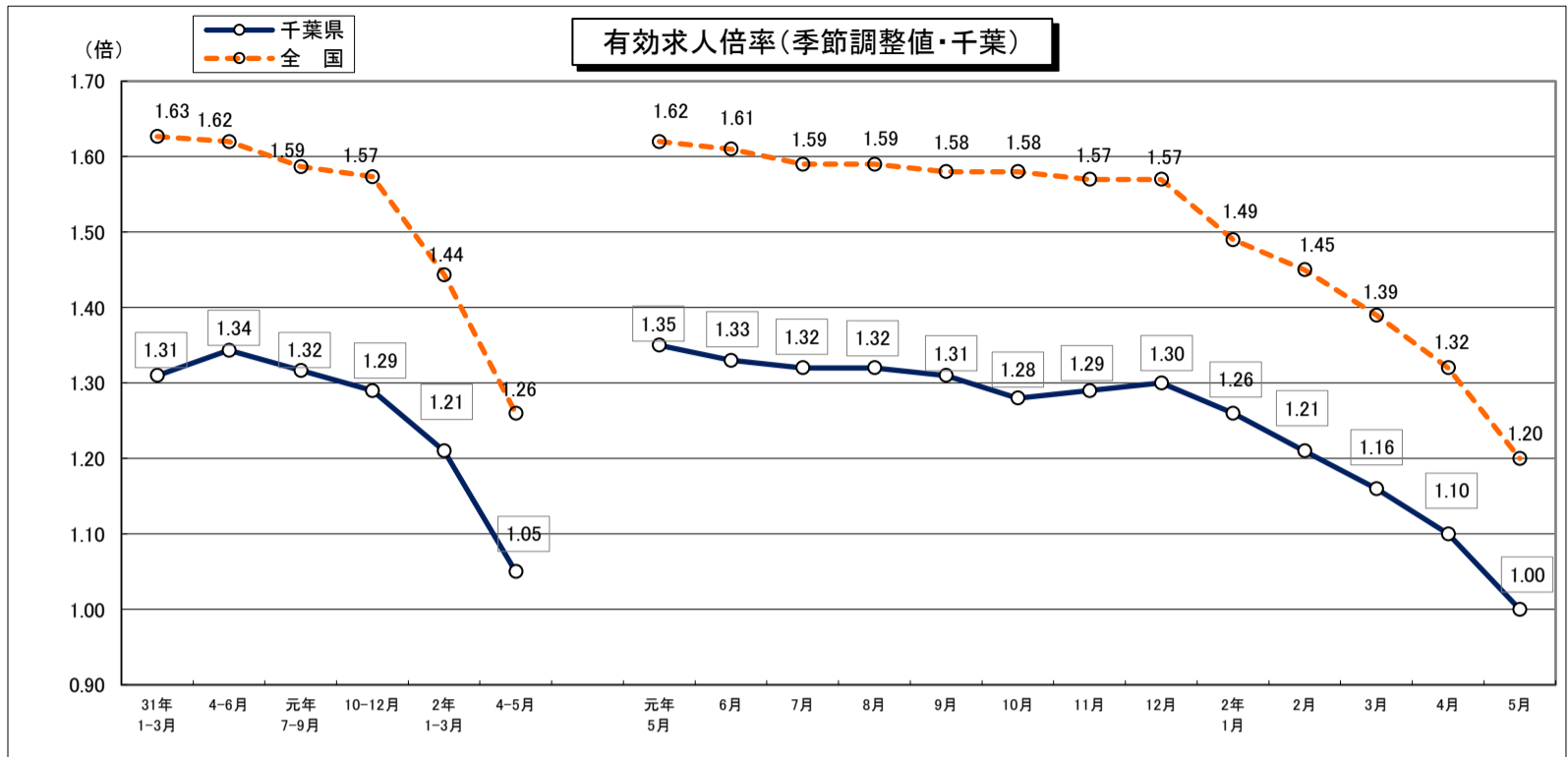
[千葉県]



[千葉県]

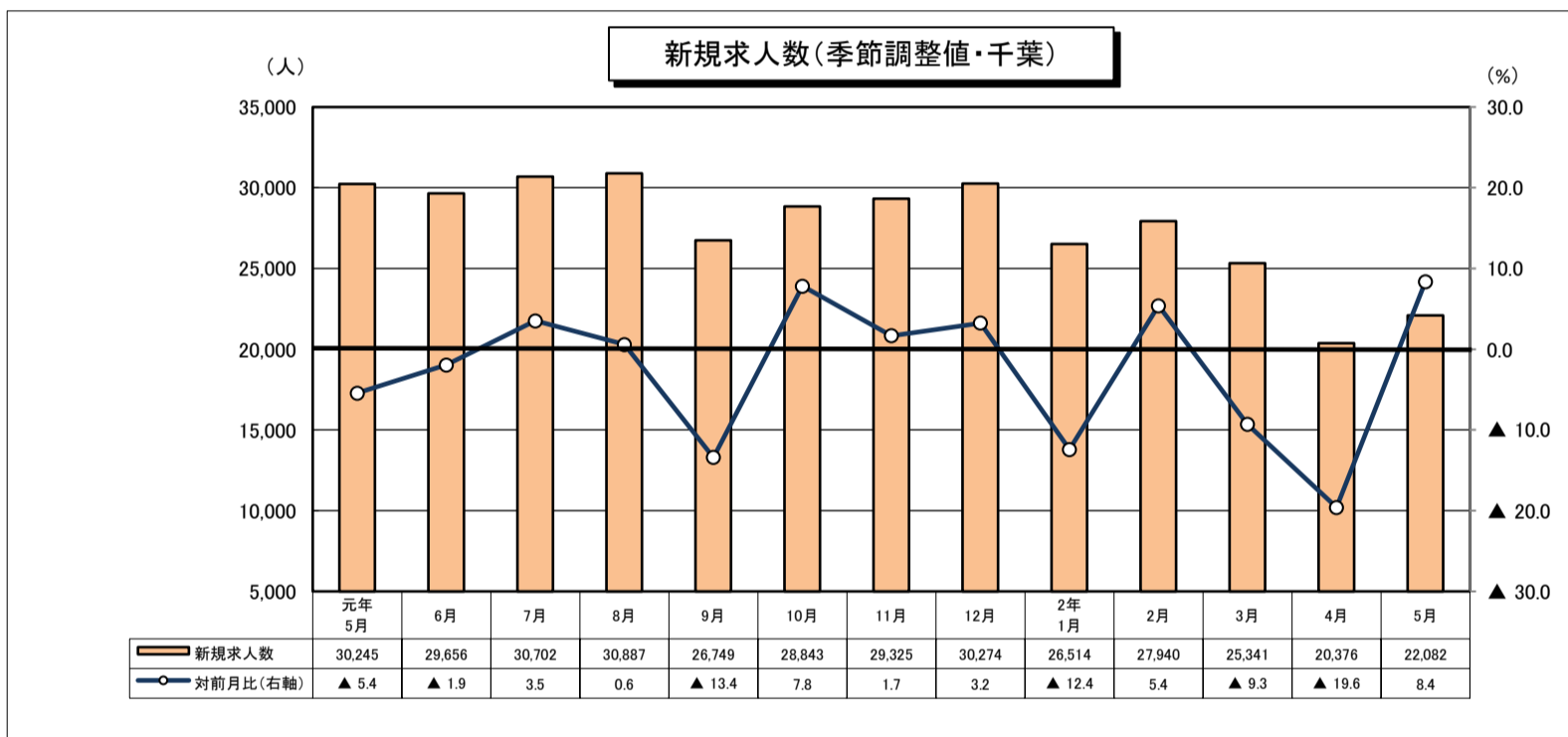
3. 雇用情勢

新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている

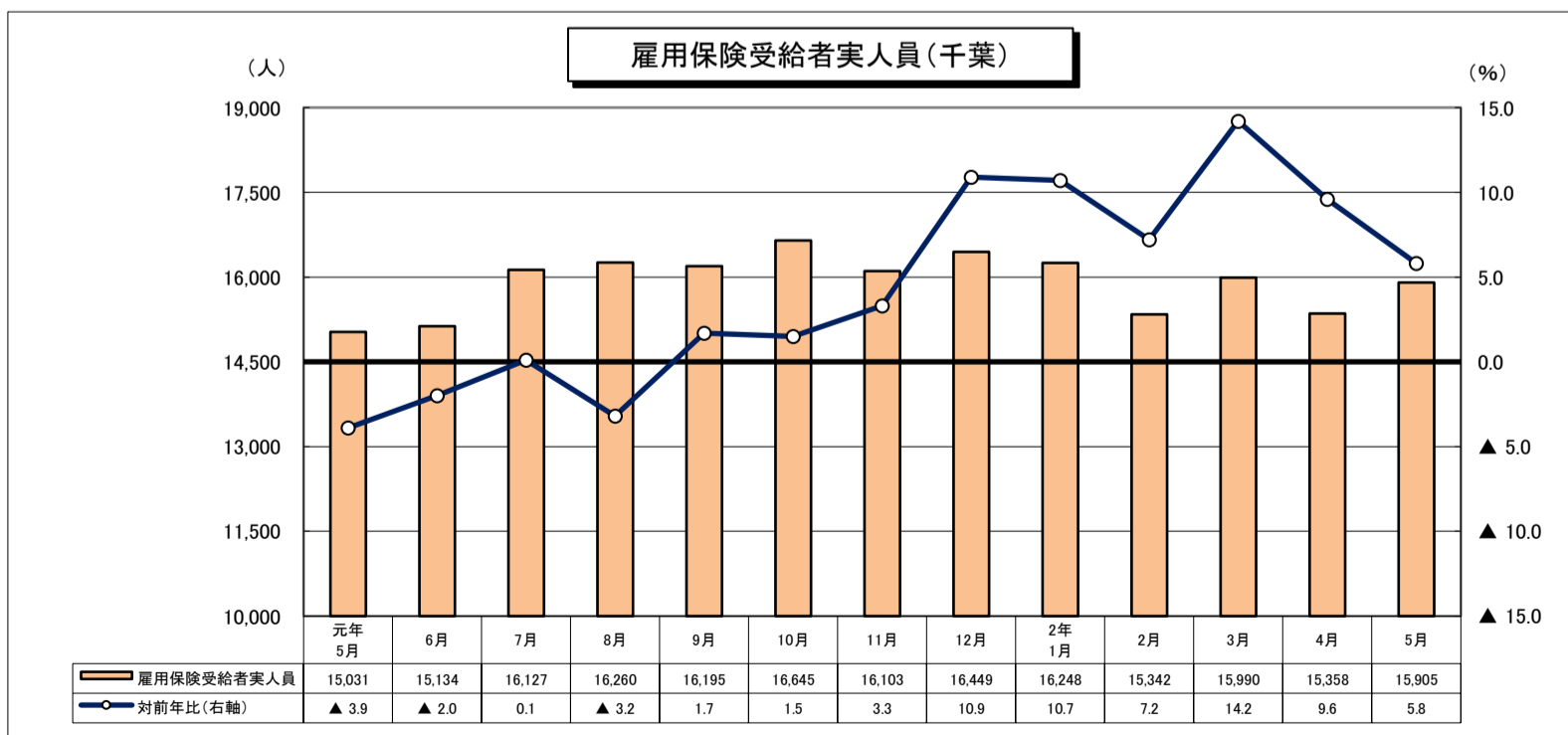


(注) 四半期は期中平均である。

[厚生労働省・千葉労働局]



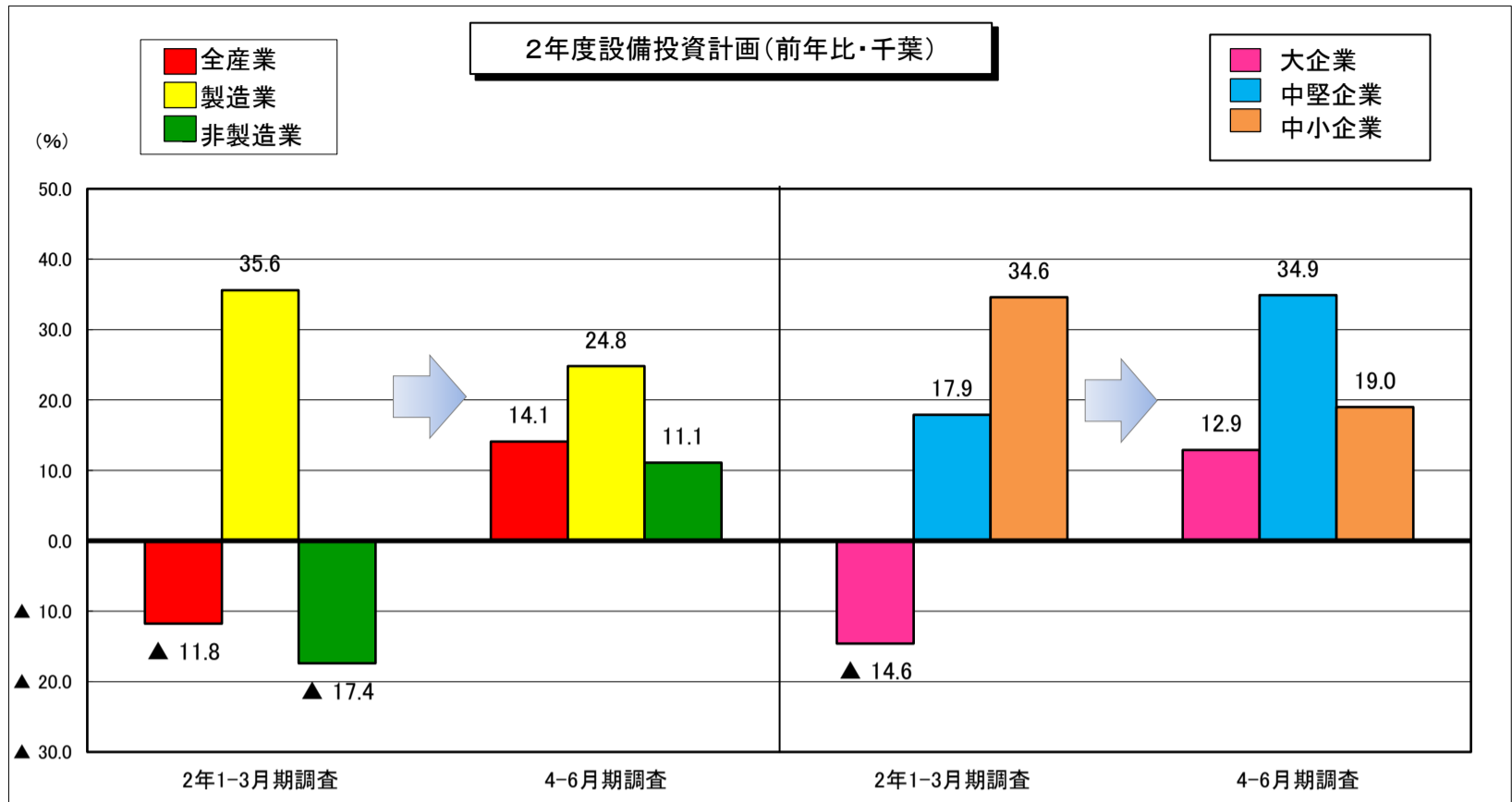
[千葉労働局]



[千葉労働局]

4. 設備投資

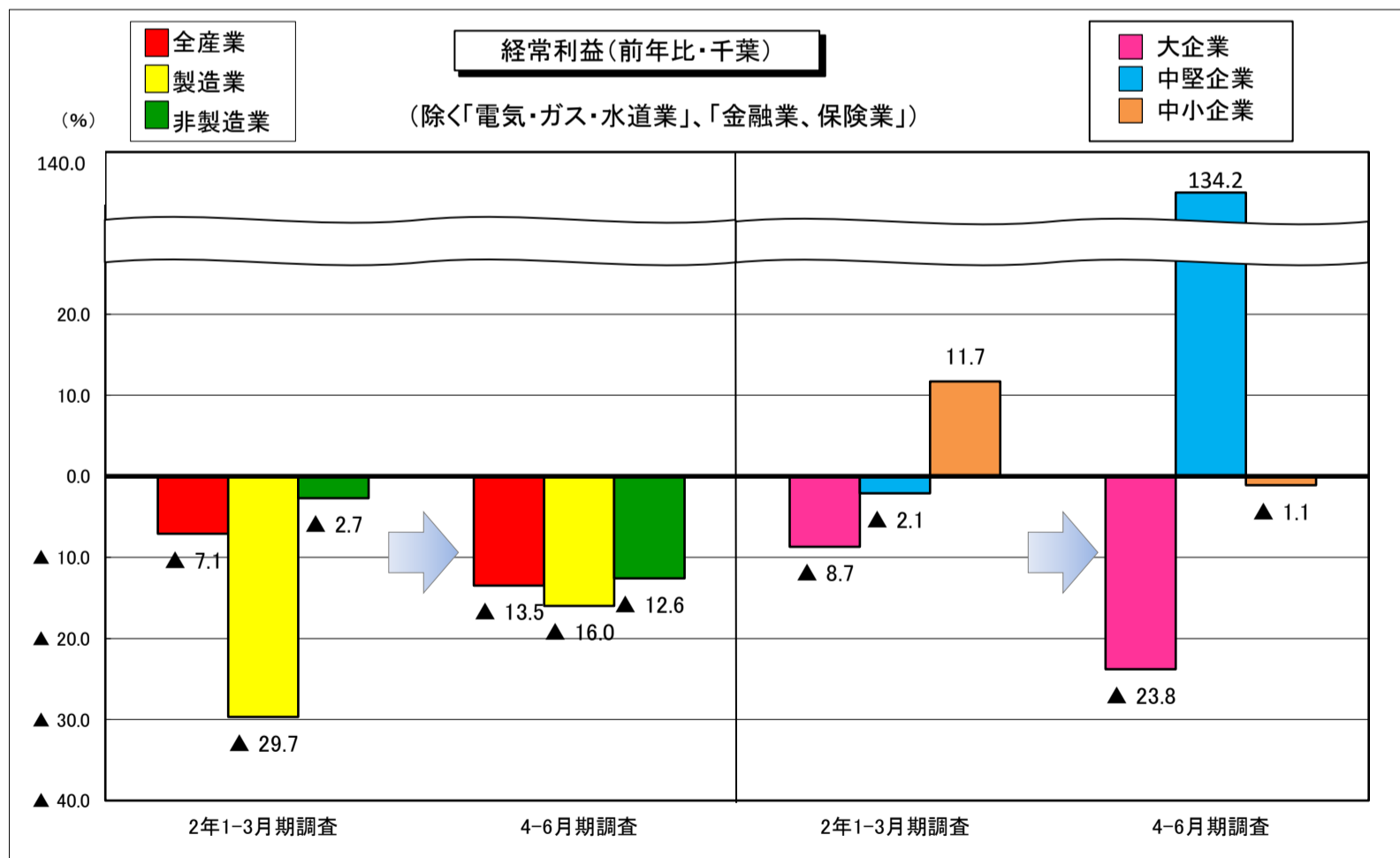
2年度は増加見込みとなっている



[千葉財務事務所(法人企業景気予測調査)]

5. 企業収益

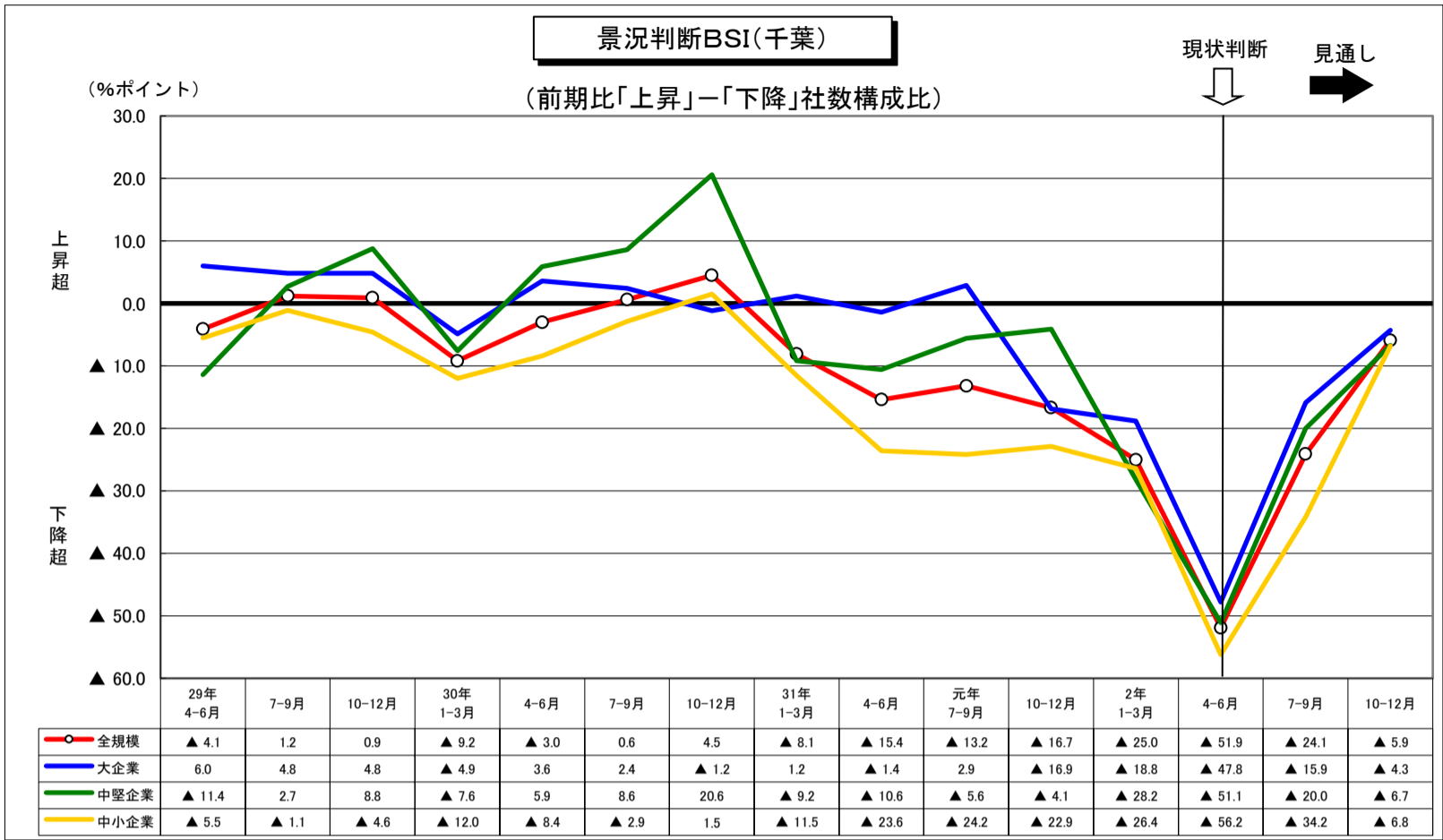
2年度は減益見込みとなっている



[千葉財務事務所(法人企業景気予測調査)]

6. 企業の景況感

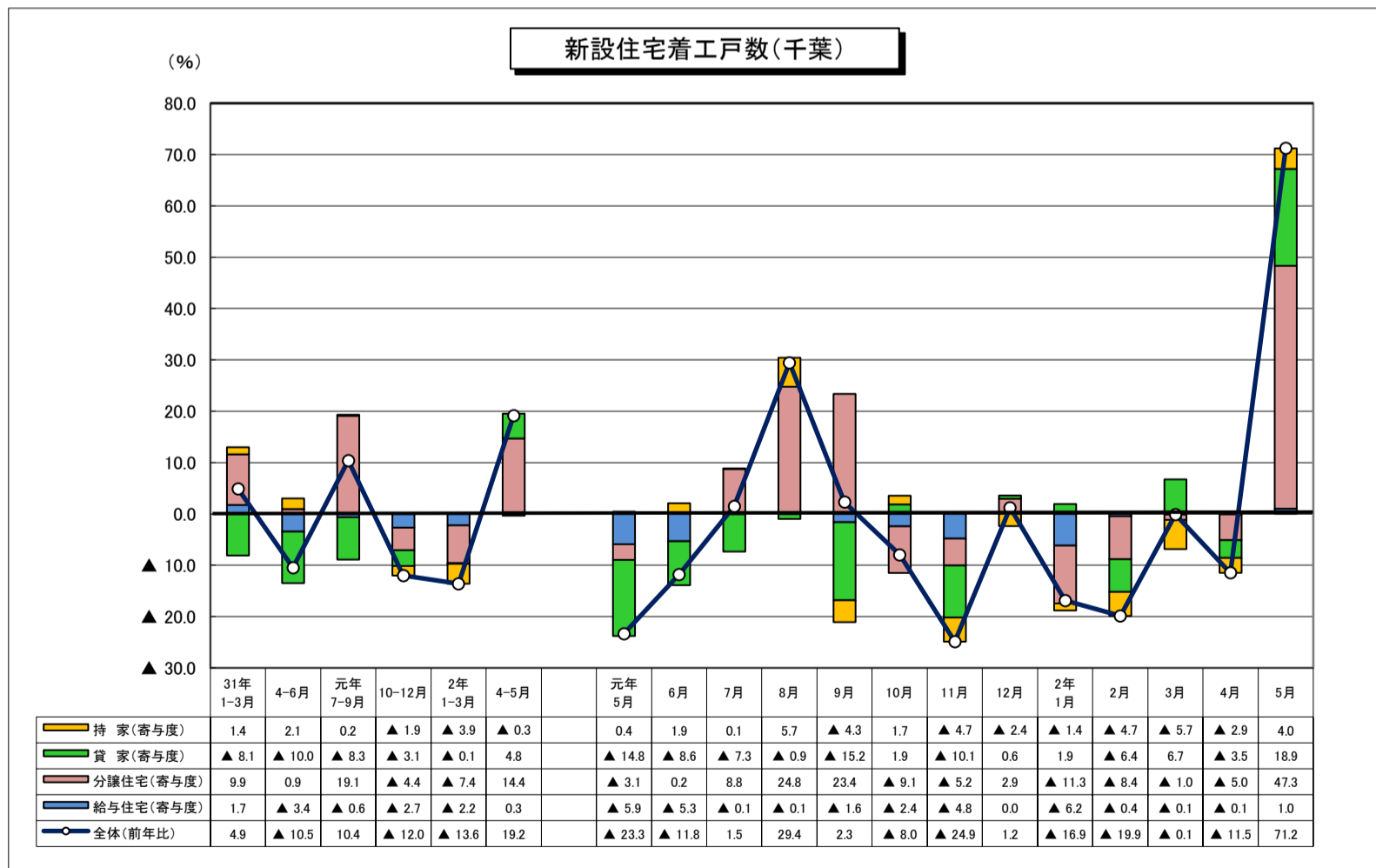
「下降」超で推移している



[千葉財務事務所(法人企業景気予測調査)]

7. 住宅建設

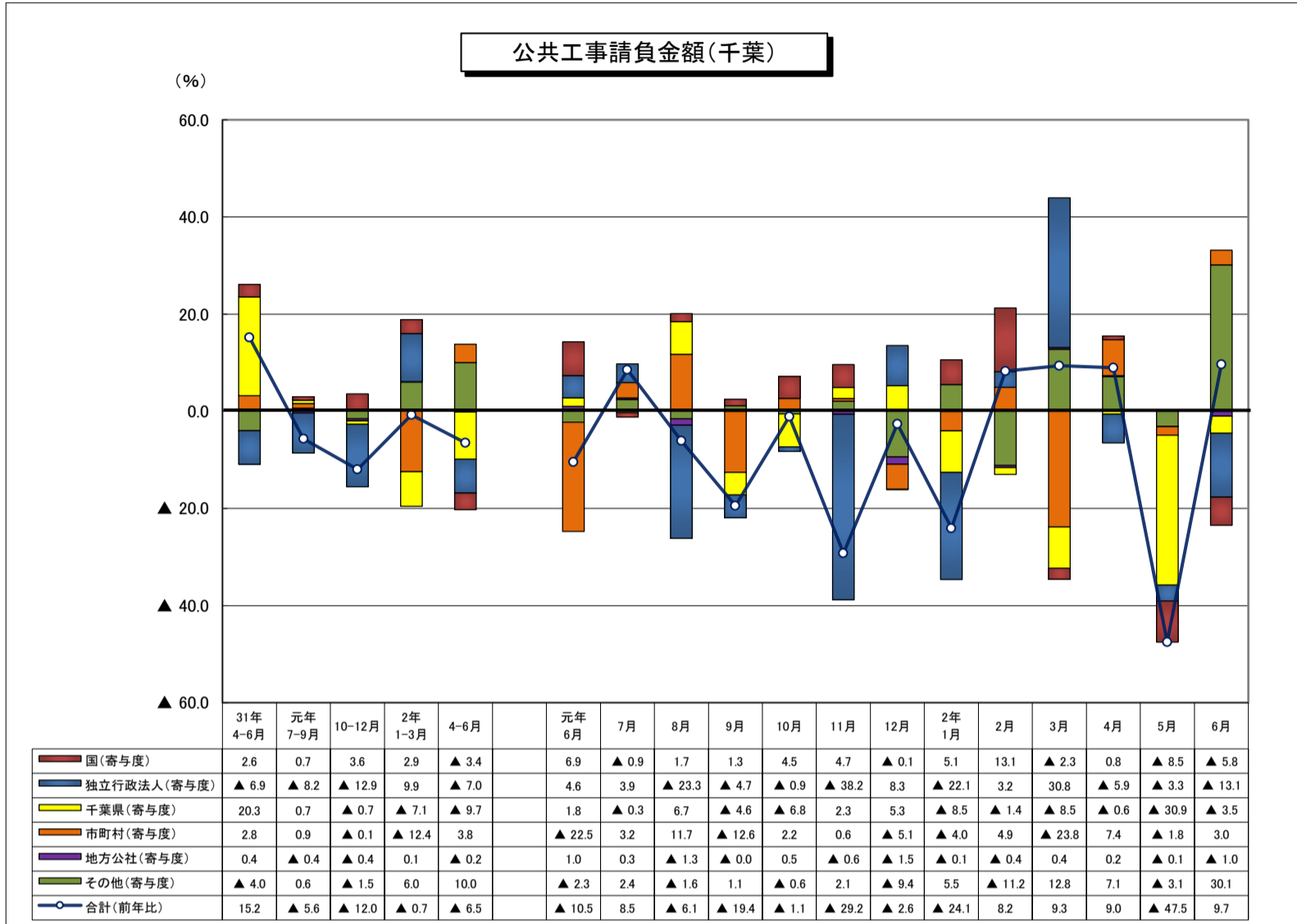
前年を上回っている



[国土交通省]

8. 公共事業

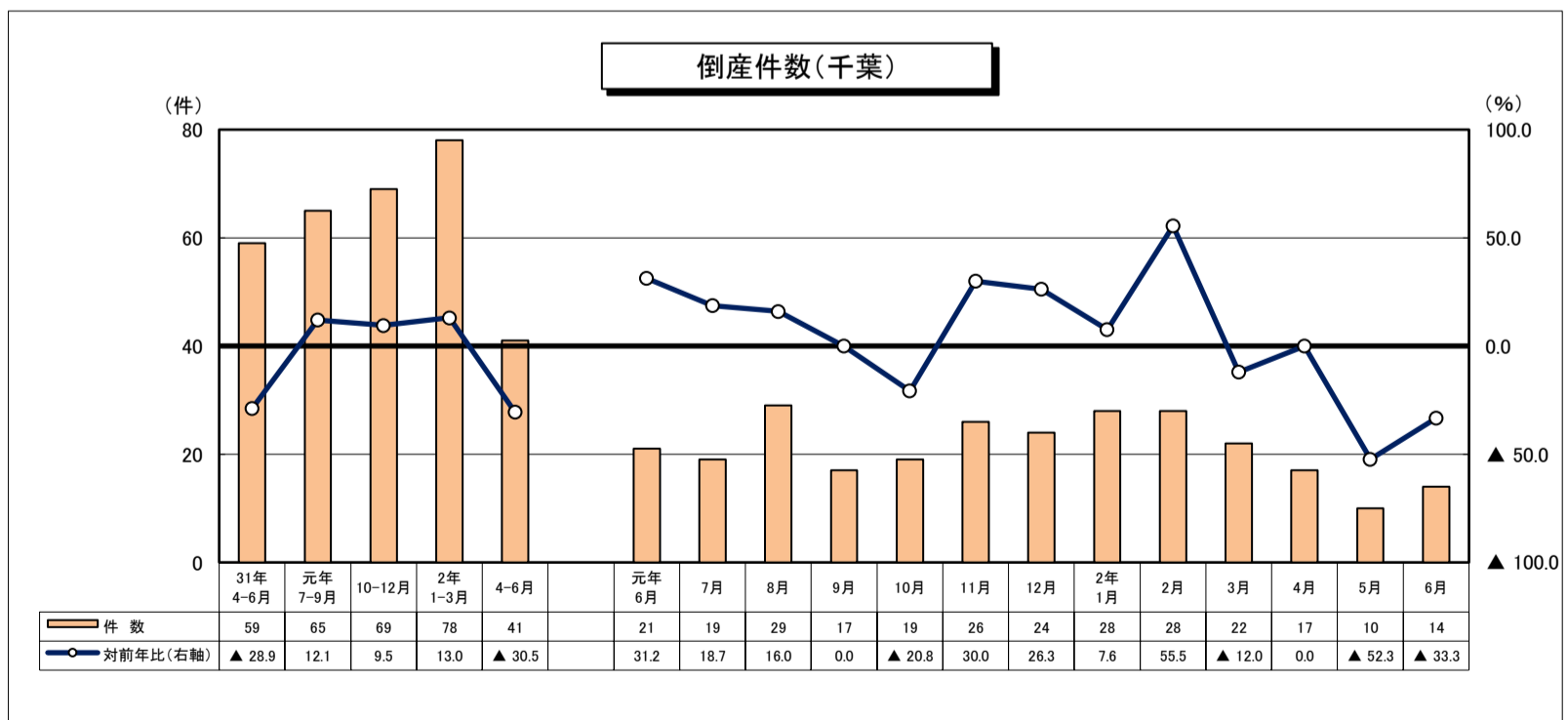
前年を下回っている



[東日本建設業保証株式会社]

9. 倒産

前年を下回っている



[東京商工リサーチ]